

モニタリングポストデータ伝送停止時における 代替測定について

2018年12月17日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一原子力発電所のモニタリング設備の現状について、第1回周辺モニタリング設備の現状聴取にかかる会合（2018年11月8日）にて以下の回答を行っている。

1. モニタリングポスト

- 外部電源喪失時の電源確保
 - ・ 非常用電源設備 あり
 - ・ 無停電電源装置 あり（持続時間約10時間）

➤ データ伝送の多様性

- ・ 多様性確保策 なし※

※構内には多数の無線式の線量率モニタがあり、代替測定が可能

2. モニタリングポスト以外の技術基準規則第34条第1項13号設備

- 外部電源喪失時の電源確保 あり

次ページから無線式の線量率モニタについて説明する。

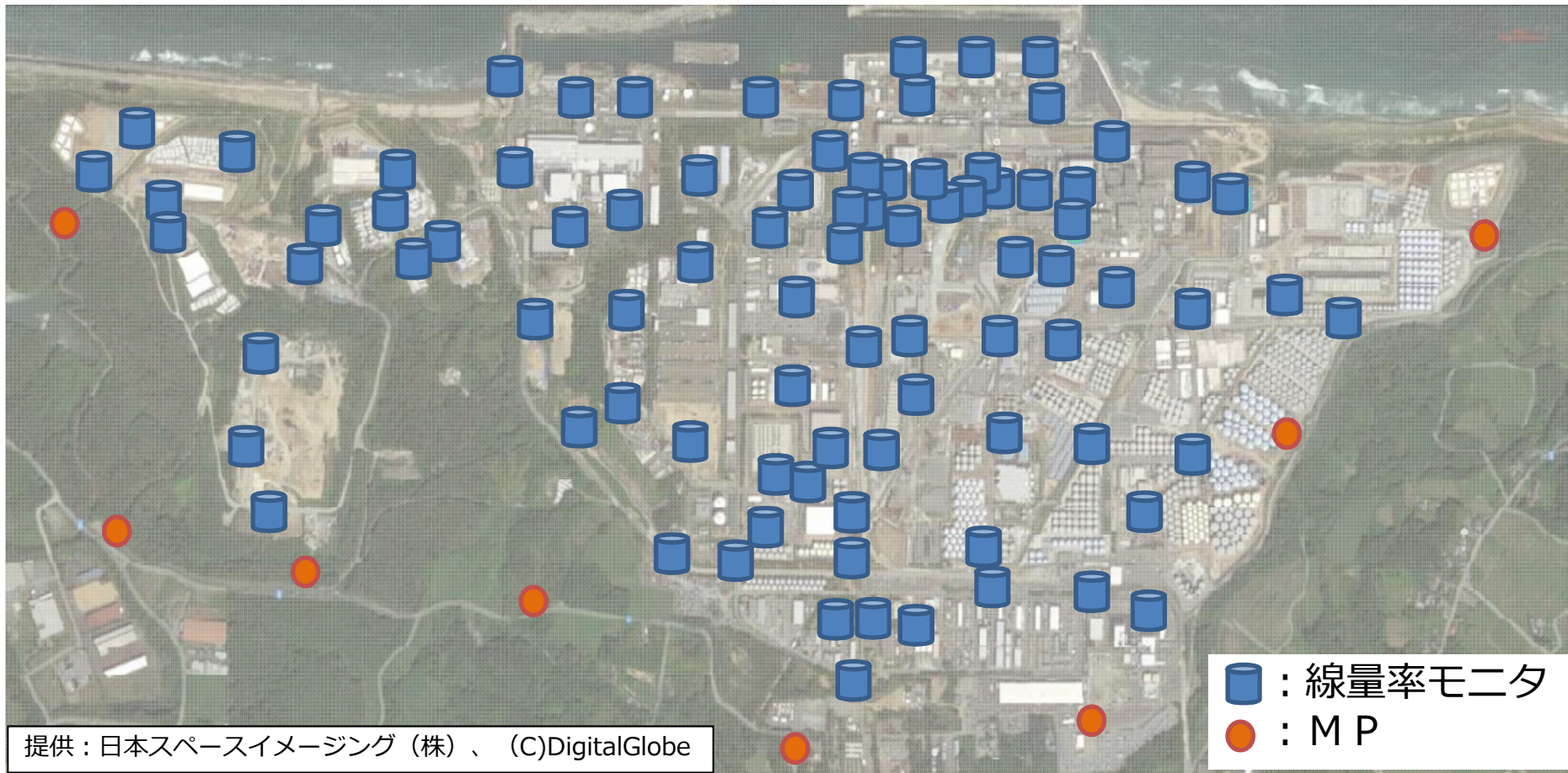
■ 主な機器仕様

線量率モニタ

- 測定範囲：0.1 μ Sv/h ~ 100mSv/h
- 電 源：バッテリー駆動とA C電源の選択可
 - ※フル充電後、日照なしで10日間まで連続稼動可能
- データ伝送頻度：1回/10分
(10分間の平均値を伝送する)
- 伝送距離：約200m
(中継器等の伝送ネットワークにより200m以上伝送可能)
- その他：GPS機能付
(設置場所変更後も自動追跡可)

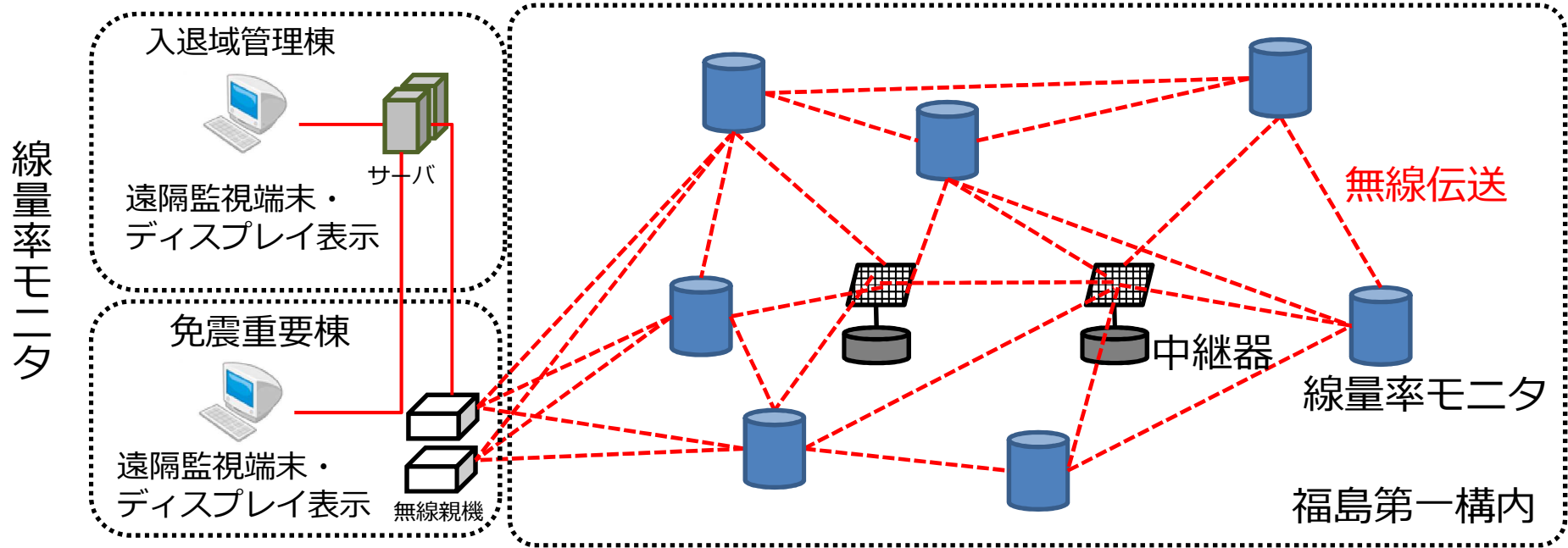


線量率モニタの外観

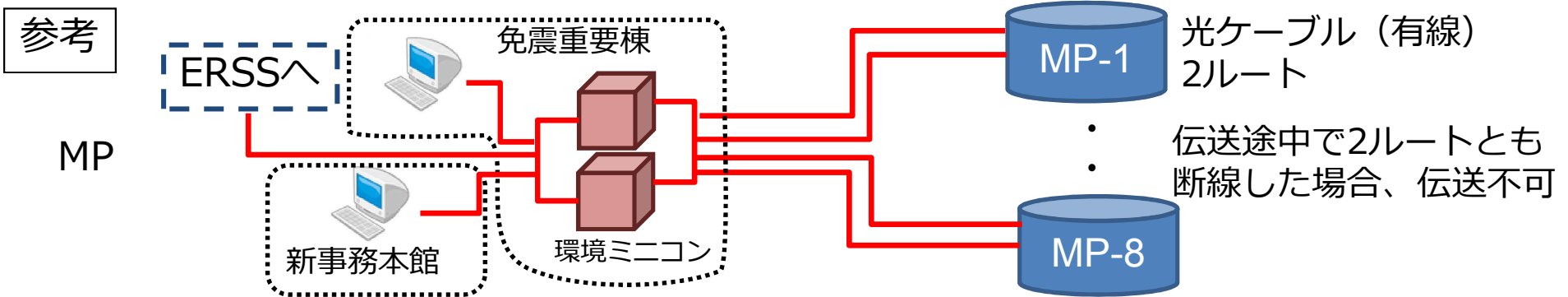


線量率モニタは約80台あり、構内で働く作業員の方が、作業する場所の線量率を把握できるように設置しているため、随時配置を変更している。
モニタリングポスト（以下、MP）のデータ伝送が停止した場合には、MP近傍に線量率モニタを設置する。

線量率モニタの伝送ネットワークイメージ



伝送途中の1つの中継器（またはモニタ）が伝送不能でも経由して監視端末へ伝送可能



MPデータのERSSへの伝送は2018年12月13日に再開。線量率モニタのデータはERSSへの伝送に対応していない。

線量率モニタの電源構成概略図

